

## 税金の果たす役割

海田町立海田中学校3年 城戸 彩花

お金は経済の血液だと考えられているように、お金の流通なくては経済が成り立たない。それだけでなく、社会に大きな混乱が起こることも、ないとは言いきれないのだ。今年に入ってから、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発表された時、私はこのことを改めて強く感じた。様々なイベントが中止になり、多くのテーマパークやショッピングセンターは休業体制をとった。そんな状態では、経済も回らない。このようなコロナ禍で、税金は大きな役割を果たしてきたのではないだろうか。

私の暮らす広島県では、県内の感染者数が少しずつ増加していることから、県内のホテル百五十室を借りた。軽症や無症状の患者をホテルに受け入れることで、病院の医療崩壊を防ごうとする計画である。このように、医療体制が圧迫しないような対策はどの都道府県でも行っているだろう。しかし、病床を確保するため、賃料は一月だけでとんでもない金額になるのだ。そのお金はどこから来ているのだろうか。誰が払っているのだろうか。そういった問題を解決するのが税金だ。一人では負担できない金額でも、みんなで少しずつ負担し合えば、誰かを助けることができる。税金のおかげで、医療崩壊が起きかねない状況からなんとか立ち直り、県内の医療体制を維持する環境が整いつつあるのだ。もし、税金がなかったらと考えるだけで恐ろしい。感染が拡大していく一方だったのではないだろうか。そう思うと、税金を納めるということは日本国民として誇らしい義務を果たしているということだ。

税金は、今回のように特別な時だけに使われている訳ではない。日頃の生活の中には、信号機や水道、教科書など、数えきれないほどたくさんある。中には私達が毎日使用している物もある。当たり前だと思っている日常が、実は税金によって支えられているのだ。

税金は誰もが豊かに、そして安心して暮らすために欠かせないものである。自分が納めた税金が、知らない誰かを救うかもしれない。知らない誰かが納めた税金が、いつか私を救うかもしれない。誰もが納めている税金は、思いもよらぬ場面で何かの役に立っているのだ。今回のコロナ禍はそういったことを考える一つのきっかけになった。私は、日本社会が支え合いによって成り立っていることを忘れず誰かのため、未来のために社会に貢献できる大人になりたい。そのために、税金についての知識をより深めていきたいと思う。